

日本語教室の書道教室が開かれました 初めてでも個性あふれる元気な作品

佐藤洋子(日本語教室部会)

6月4日(月)6日(水)7日(木)の日本語教室で、希望者を対象とした書道教室が開かれました。

4日月曜日は、学習者7名、ボランティア2名が体験に参加。書道講師は水曜日の本語教室のボランティア、鈴木万由美さんです。他にボランティア7名が、お手伝いや学習者の付添として出席しました。

黒板には、朱で「永」という文字が書かれた半紙が、本日のお手本として貼られています。まずは筆の持ち方の練習からスタート。「筆はまっすぐ立てて持って下さい」「鉛筆持ちでなく、2本の指で持って」「半紙は必ず左手で押さえて」と、鈴木さん。学習者たちは講師の筆の持ち方を、神妙な面持ちで見習います。

次に基本の筆遣いの練習。横、縦、払い…。ものすごい勢いで「跳ね」を書く人、紙からはみ出しそうなくらい長〜い横線を書く人。「う〜ん、難しいッ」「こんな感じ(でい

い)！？」等々、皆熱心に何枚も何枚も練習します。「縦は、(筆先を)斜めに入れて、まっすぐ下ろす。そうそう。最後、止めてね」「あなたはもっと筆に墨をつけましょう」と、講師が一人一人の席を回って、丁寧に指導します。

基本練習の後は、各自、好きな文字を選んで練習。「大」「花」「光」など。自分の名前をカタカナで挑戦する人も多いようです。

ラスト、いよいよ色紙に清書です。一発勝負なので、皆真剣な雰囲気。

「自分の名前を書けて、満足。楽しかったです」(佐藤ルビーさん・フィリピン)。

「光という字はちょっと難しかったですけど、先生方のおかげでうまく書けました」(ブイ・ティ・マイ・リエンさん・ベトナム)。

1時間という限られた時間の中ですが、一生懸命練習した甲斐あって、それぞれ個性あふれる元気な作品が完成。「書」という日本の文化に楽しく触れられたようです。



初めての筆使い。難しいけど楽しそうです



今回参加の学習者とボランティアのみなさん。中央が講師の鈴木さん